

2023年度 環境活動レポート

作成日 2024年12月14日 / 修正日 2025年2月17日

年間号



オリジナルパソコン・周辺機器・製造・販売・サポート・修理



DOS/V Proショップ
有限会社 笑栄システム

有限会社 笑栄システム

環 境 方 針

弊社はオリジナルパソコンの製造・販売・修理・サポートを行うに当たり、ものづくりの原点を見直し、製造者責任として自社製品に対して、「製造過程でゴミを作らない」「製造過程でゴミを出さない」「製品の再利用」の3原則を基本に、CO2削減の為の環境保全活動に自主的・積極的に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や定めた事を順守し、全員参加で取組を行います。
2. 以下について、環境方針を基に具体的な環境目標を定め、実施計画を立て、継続的に改善に努めます。
 - ① 地球温暖化対策の為、電力・灯油・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素（CO2）の削減
 - ② 水資源の節水
 - ③ 電力の一部分に、クリーンエネルギー使用（太陽光発電）
 - ④ パソコン・部品を修理・リサイクル・リユース製品として再生販売するなど、弊社独自のリサイクルシステムの導入・活用（廃棄物の排出抑制・リサイクル）
 - ⑤ 環境に配慮した製品の開発・販売促進
 - ⑥ 原料及び事務用品のグリーン購入
 - ⑦ 地域での環境活動へ積極的に参加これらについて、環境経営目標・計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

3. 当社で働く全従業員にこの環境方針を周知します。

制定日 2006年12月 1日 改定日 2023年 2月13日

有限会社 笑栄システム 代表取締役 向山 実恵

～対象範囲～

- 認証・登録番号 0002263
- 認証・登録事業者 有限会社 笑栄システム
- 認証・登録の対象活動範囲 パソコンの製造・販売・修理・サポート、ネットSHOPでの販売
- 関連事業所 有限会社 笑栄情報電子機器販売
- レポート対象期間 2023年8月1日 ～ 2024年7月31日
- レポート発行日 2024年12月14日 / 修正日 2025年2月17日

～登録事業所の概要～

■ 事業者名・所在地及び代表者名

<事業社名>

有限会社 笑栄システム ※関連事業所 有限会社 笑栄情報電子機器販売

<所在地>

長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪 14775-4 ※有限会社 笑栄情報電子機器販売同じ

<代表者>

代表取締役社長 向山 実恵

■ 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 向山 実恵

EA21 環境事務局 : 向山 実恵

TEL : 0265-70-1027

FAX : 0265-70-1028



■ 事業の規模

◆ 創立	1997年1月1日	◆ 年間パソコン販売台数	約70台
◆ 資本金	300万円	◆ 年間破棄・分解（パソコン・その他部品）台数	約120台
◆ 従業員数	6名（外注・出向社員含む）	◆ 年間パソコン修理台数	約240台
◆ 工場延べ床面積	165㎡（有限会社 笑栄情報電子機器販売面積含む）		

■ 事業内容

- ◆ オリジナルパソコン周辺機器の製造・販売・修理 及び 他社パソコン（各種メーカー）修理・販売 等
- ◆ オリジナルソフト（ワープロ化ソフト等）作成・販売 及び ホームページ・カートシステムの作成・販売
- ◆ パーツ・周辺機器等の販売 及び Web ショップにて周辺機器・雑貨等の販売（有限会社 笑栄情報電子機器販売 事業）
- ◆ サポート・メンテナンス・ネットワーク・講習 など
- ◆ 中古・リサイクル品 再生及び販売（長野県古物商許可第481230200019号）
- ◆ エコ事業（太陽光製品等販売）



↑ 修理風景



データ復旧中 ↑



WEBショップ ↑

～環境経営システム組織図～

<p style="text-align: center;"><組織図></p>	<p style="text-align: center;">役割・責任・権限</p>
<p>認証・登録の適用範囲 住所：長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪 14775-4 関連事業所：(有)笑栄情報電子機器販売 活動：パソコンの製造・販売・修理・サポート(Web ショップにて雑貨等の販売)</p>	<p>代表者（社長）</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者 部門長兼務 <ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用を用意 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標の設定を承認 全体の評価と見直しを実施 環境経営システムを構築し、実施し、管理 法規制等の要求事項登録簿を承認 環境活動実施計画書を承認
<p style="text-align: center;">代表者・環境管理責任者・部門長兼務 社長</p> <p style="text-align: center;">EA21 環境事務局</p> <p style="text-align: center;">全従業員</p>	<p>EA21 環境事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者、EA21 推進会議の事務局 環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 「環境関連法規等チェックリスト」の作成 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営システムの実施 環境方針の周知 従業員に対する教育訓練の実施 関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 問題点の発見、是正、予防処置 環境活動実施計画の実績集計
<p style="text-align: center;">有限会社 笑栄情報電子機器販売</p>	<p>全従業員 有限会社 笑栄情報電子機器販売</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

～環境目標～

2023 年度環境目標は以下のように設定し、取り組みしました。

- 二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・総排水量 : 基準値 現状維持管理 (基準値より 1% 削減目標)
- 原料及び事務用品のグリーン購入 : 基準値 現状維持管理 (年間購入比率 30%目標)
- 環境に配慮した製品開発・販売・促進 : 月計 6 件以上
- パソコン・周辺機器の修理・再生・リサイクルによる製品の再生 : 月 3 件以上

■ 主な環境負荷の状況

項目	単位	2022 年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂ /年	8,625
廃棄物排出量	トン/年	0.536
総排水量	m ³ /年	216
原料及び事務用品のグリーン購入促進	%/年	30

■ 年度毎の環境目標

削減項目	基準値 (基準年)	2023 年度	2024 年度	2025 年度
		年度目標	年度目標	年度目標
二酸化炭素の削減	8,625 g-CO ₂ (2022 年度)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)
廃棄物の削減 (一般・産業)	0.536t (2022 年度)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)
省資源 (水道)	216 m ³ (2022 年度)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)
原料及び事務用品の グリーン購入促進	購入比率約 30% (2022 年度)	現状維持管理	現状維持管理	現状維持管理
環境に配慮した製品 開発・販売・促進	基準値 8 件 (2022 年度)	月計 6 件以上	月計 6 件以上	月計 6 件以上
修理・再生・リサイクル による製品の再生	基準値 5 件 (2022 年度)	月 3 件以上	月 3 件以上	月 3 件以上

～環境活動計画～

■ 二酸化炭素の削減

- 太陽光による発電 ○エアコン・ヒーターの調整
- ガソリン・灯油の削減 ○こまめな節電・電球交換

■ 廃棄物の削減

- 古紙・ダンボールを回収へ回す（再資源）
- ミスコピーの削減 ○梱包材の再利用○裏紙の使用
- 詰替・替えタイプに変更
- リユース・リサイクルパソコンとして、
使用済み製品を再生販売する
- 使用済みコンピュータ本体又は、部品で再利用
出来る物は有効的に再利用（販売）する

■ 省資源（水道）

- 節水呼びかけ ○地下水使用
- トイレタンクの水量調節 ○節水弁等取り付け

■ グリーン購入

- 環境物品を選ぶ際に環境ラベルを確認し、
グリーン購入対象商品を購入する。
- 消耗品は、詰替えがあれば詰替え用を購入。

■ 商品の環境への配慮

- 製品買換え時の、製品引取り及び代理処分の実施
- 製品の小型化の実施 ○環境に優しい製品作り及び販売
- 環境に配慮した製品への提案や販売、それに伴う電力削減

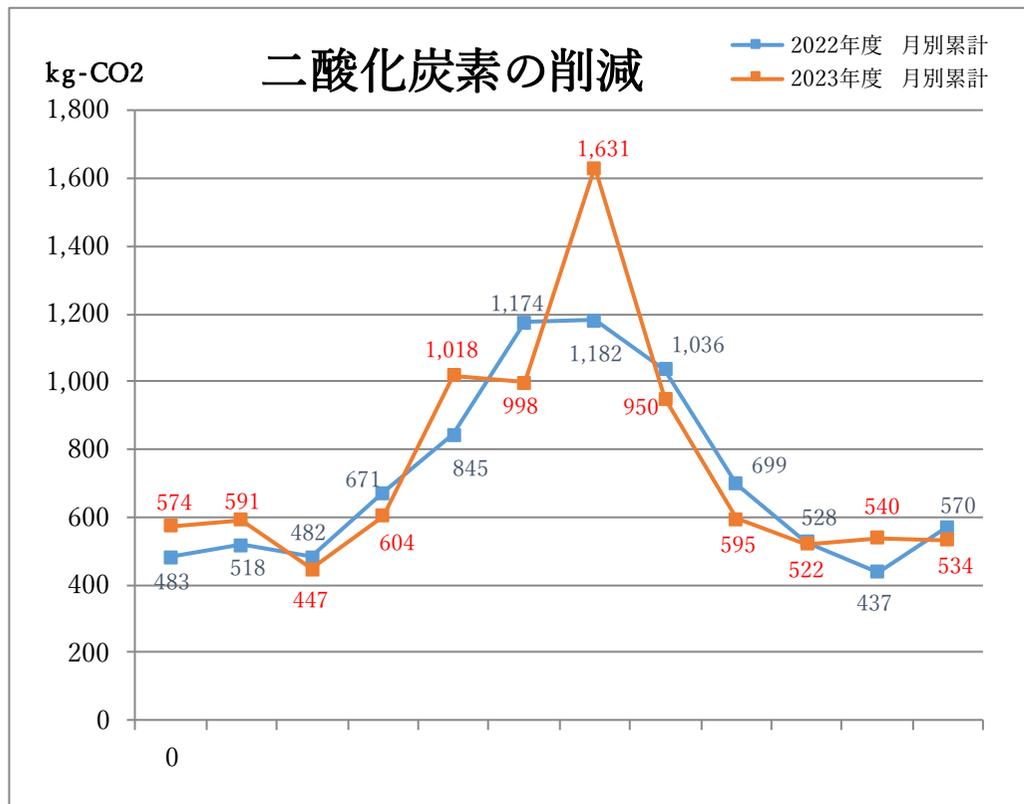
～環境活動計画の実施内容～

■ 環境目標達成状況

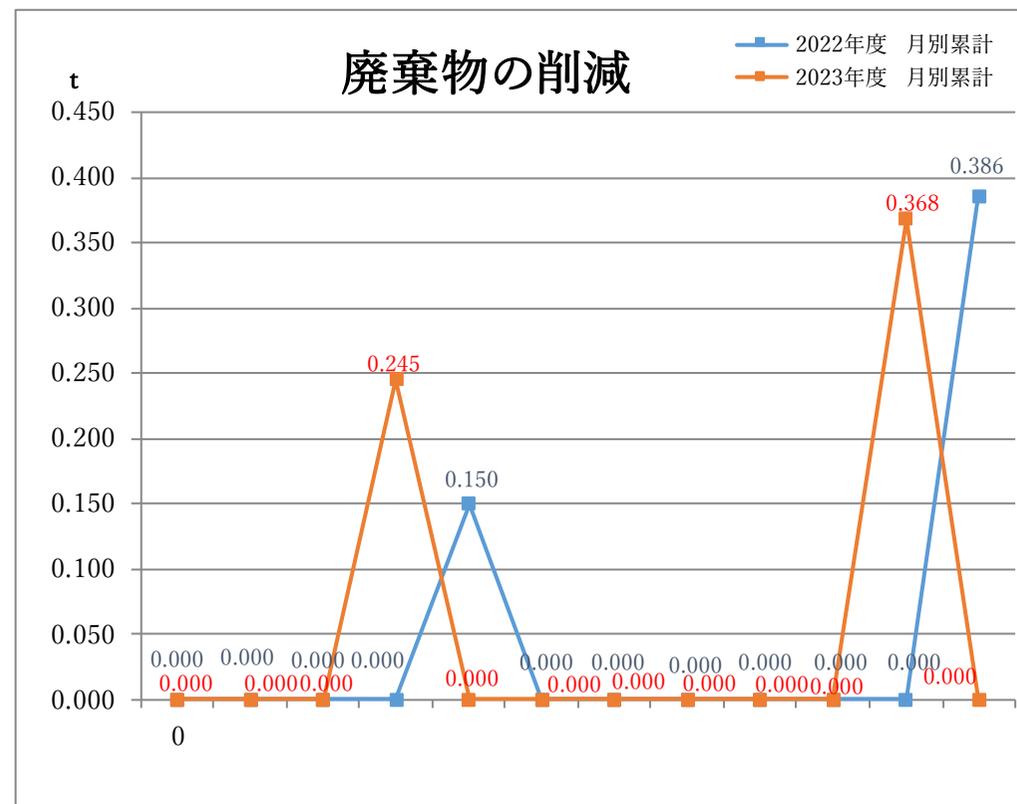
2022年中部電力
CO₂電力換算排出係数 0.459 (kg-CO₂/kWh)

2023年8月～2024年7月 目標と実績一覧		
削減項目	基準値 (基準年)	2023年8月～2024年7月間の目標 (最終合計目標値)
		2023年8月～2024年7月間の実績
二酸化炭素の削減	8,625 Kg-CO ₂ (2022年度)	8,539Kg-CO ₂₂
		9,004Kg-CO ₂
廃棄物の削減 (一般・産業)	0.536t (2022年度)	0.531t
		0.613t
省資源 (水道)	216m ³ (2022年度)	214m ³
		220m ³
原料及び 事務用品の グリーン購入促進	およそ30% (2022年度)	全体購入比率の 30%
		全体購入比率の 40.9%
環境に配慮した製品 開発・販売・促進	月8件以上 (2022年度)	月6件以上
		月平均 22.7件
修理・再生・リサイク ルによる製品の再生	月3件以上 (2022年度)	月3件以上
		月平均 5件

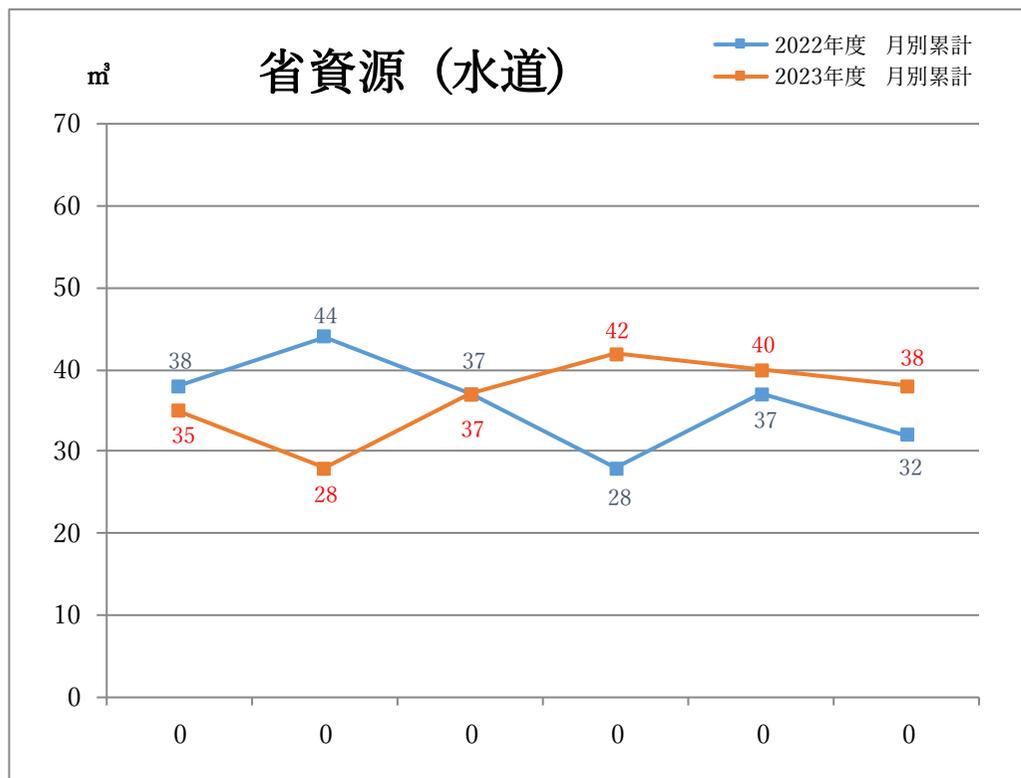
二酸化炭素排出量 年度別グラフ



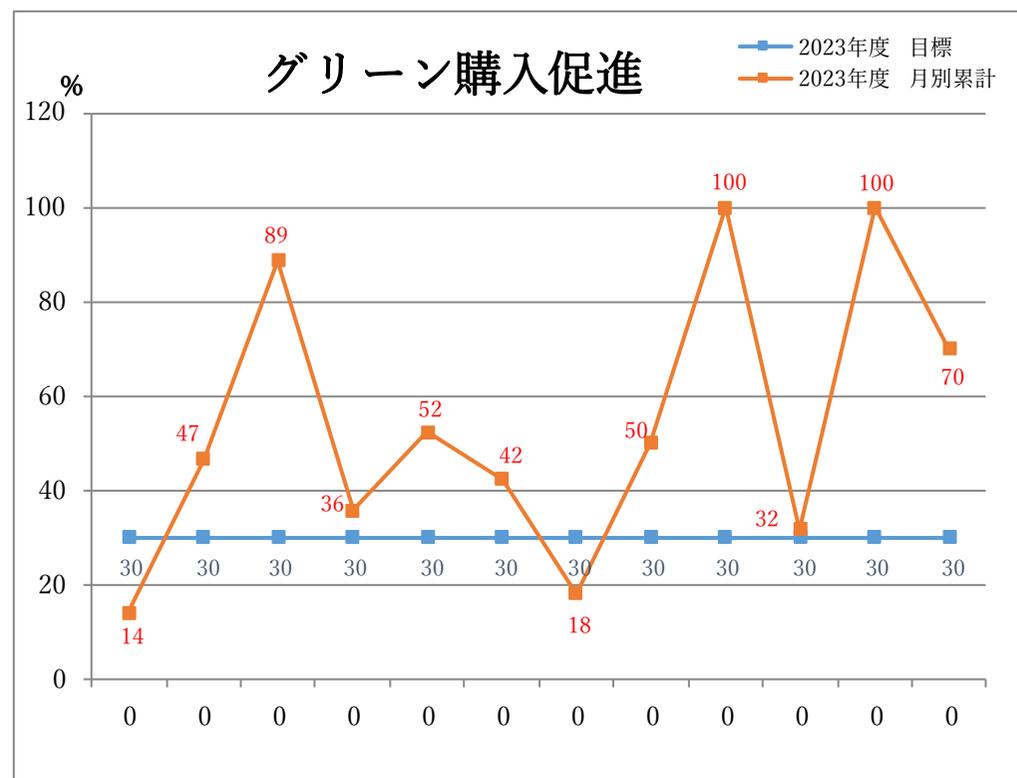
廃棄物排出量 年度別グラフ



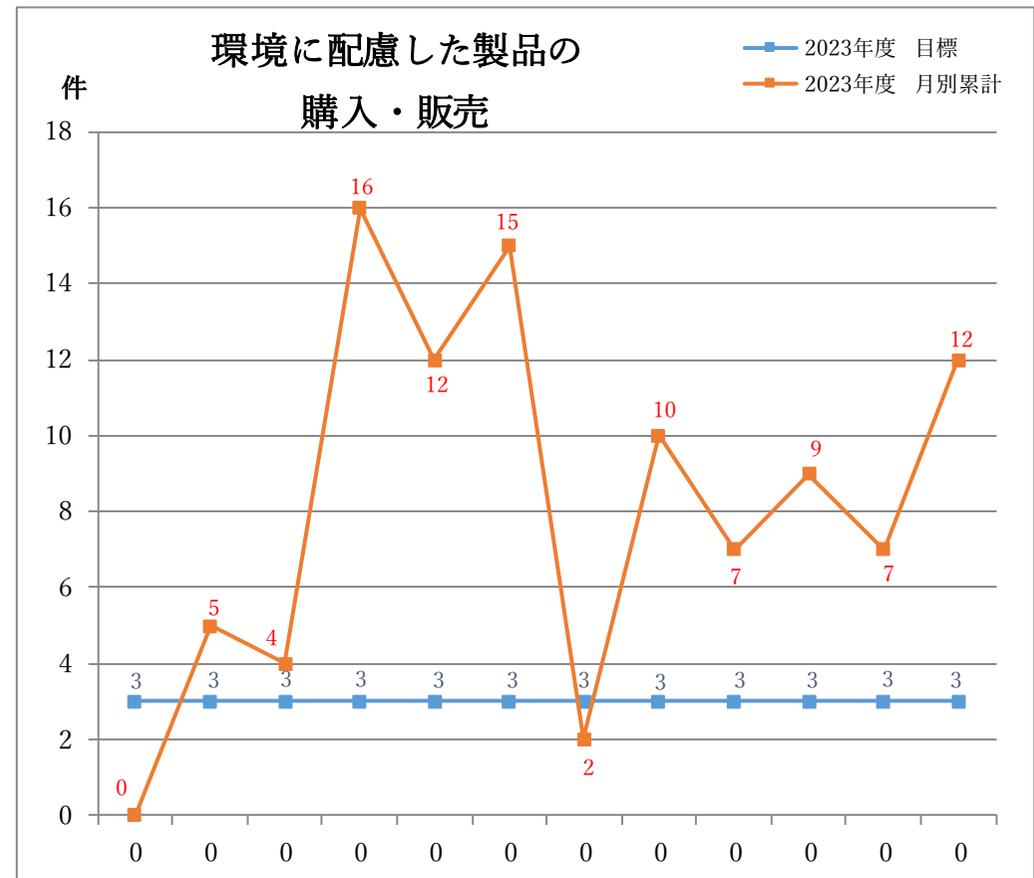
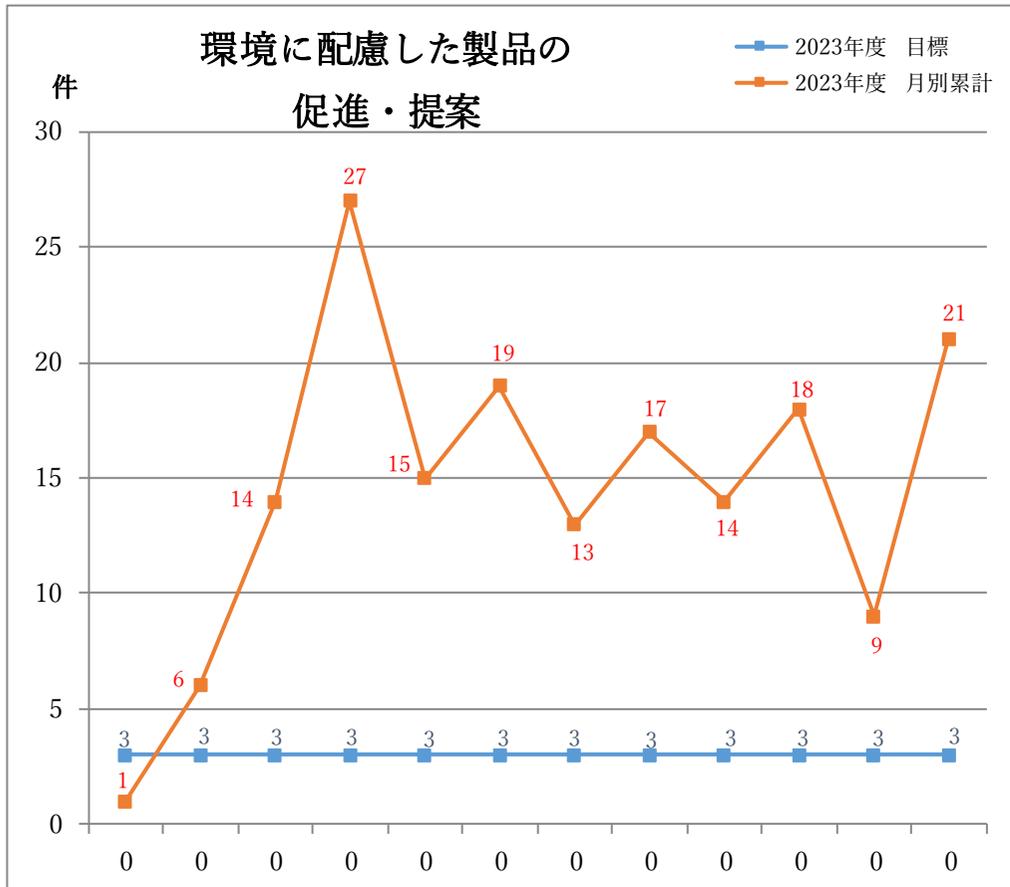
省資源（水道）の削減 年度別グラフ



グリーン購入 年度別グラフ



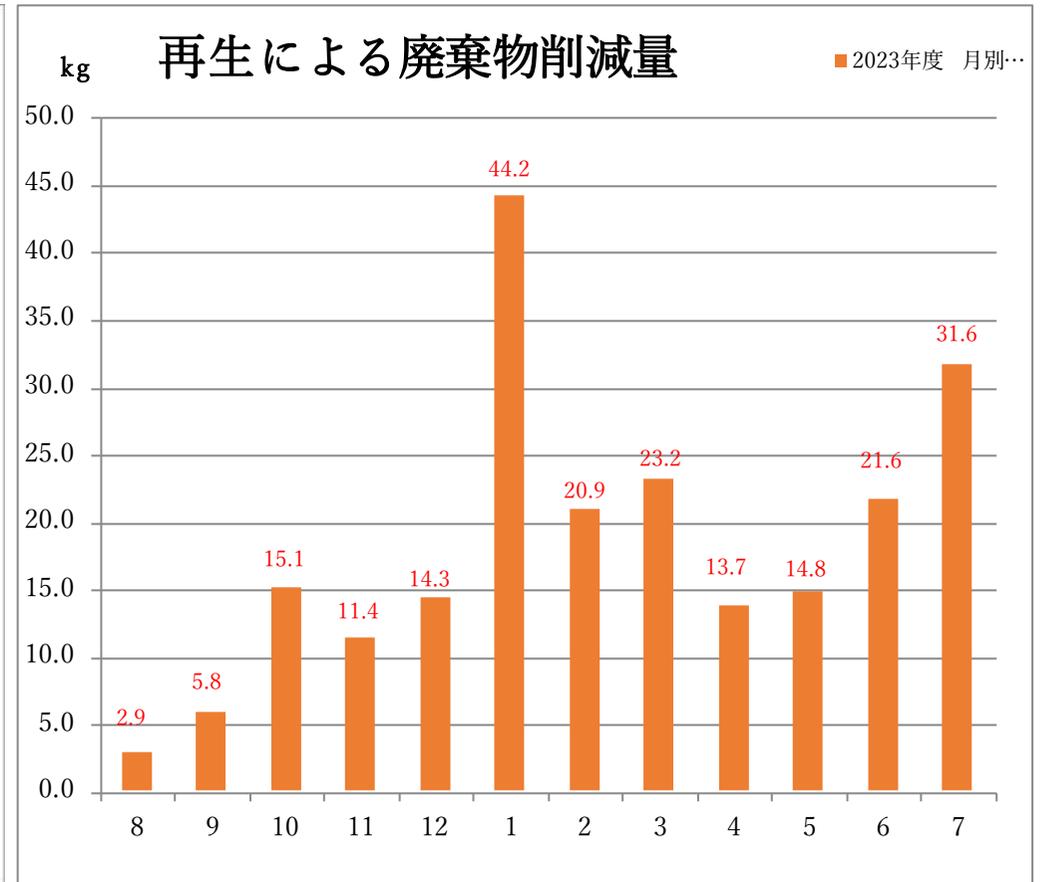
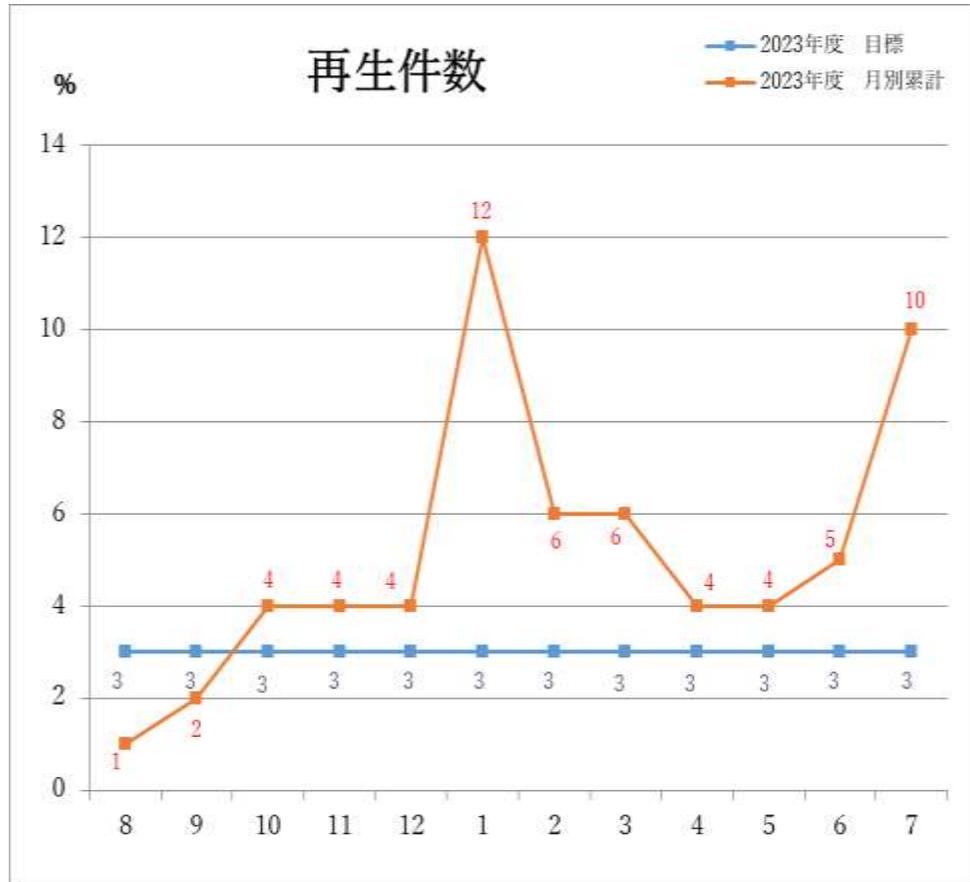
環境に配慮した製品の開発・販売・促進 年度別グラフ



■内訳

- ・環境対策商品の提案 174 件
- ・環境対策商品の開発 0 台 (内)
- ・環境対策商品の販売 99 台
- ・環境対策商品購入 他

修理・再生・リサイクルによる製品の再生 年度別グラフ



■ 目標達成への取り組み・評価・反省点 など

取り組み計画	達成状況	評価 (結果と次年度の取組内容)
<p><u>二酸化炭素の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○太陽光の活用 ○こまめな節電 (パソコン・照明・換気扇・エアコン) ○ガソリン・灯油の削減 ○省電力商品開発・提案 	<p>目標: 8,625Kg- CO₂ (2022 年度比 Δ1%)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>実績: 9,004Kg- CO₂</p> <p>目標比: Δ104.4%(実績/目標)</p>	<p>結果: ×</p> <p>電気やガス、ガソリンに関しては、通年通して目標付近の数値で終わったが、灯油の使用量が増え目標達成にはならなかった。来年度も、円安や物価高による変化が大きいと思われるので、引き続き気を付けて見ていきたい。</p>
<p><u>廃棄物の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○裏紙の使用 (再印刷・メモ用紙 等) ○使用済みコンピュータ本体又は、部品で再利用出来る物は有効的に再利用する ○分別し、資源となるものは極力回収に回す ○リユース・リサイクルパソコンとして、使用済みの製品を再生販売する事で少なくする 	<p>目標: 0.536t (2022 年度比 Δ1%)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>実績: 0.613t</p> <p>目標比: Δ114.4%(実績/目標)</p>	<p>結果: ×</p> <p>本年もダンボール・古紙については、例年通りリサイクル出来ている。買替前や整理等により廃棄パソコンの依頼が増え、廃棄量が増えていると思われる。買取も行われており、リサイクルも出来ている事は確認出来ているので、今後も分解・分別・リサイクルを推奨し、継続して確認を行って行く。</p>
<p><u>省資源 (水道)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○水道水削減目標説明 ○節水呼びかけ ○地下水利用による植木の水やり ○節水弁の取り付け 	<p>目標: 216 m³ (2022 年度比 Δ1%)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>実績: 220 m³</p> <p>目標比: Δ101.9%(実績/目標)</p>	<p>結果: ×</p> <p>本年度は 1 月までは順調に使用量を減らして行けたが、後半目標より使用量が増えてしまった。洗車等使用目的は判明しているので、このまま引き続き確認をしていく。</p>
<p><u>原料及び事務用品のグリーン購入促進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○消耗品は、詰替えがあれば詰替え用を購入 ○グリーンラベル製品等の積極購入 	<p>目標: 全体購入比率 30%</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>実績: 全体購入比率 40.9%</p> <p>目標比: 136.3%UP(実績/目標)</p>	<p>結果: ◎</p> <p>達成出来ていない月が 2 回あったが、大幅に達成出来た月も 3 回あり、トータルで本年も達成出来たと思う。今後も物価高も進む事も考慮しつつ、引き続き目標に取り組む。</p>
<p><u>環境に配慮した製品の開発・販売・促進・提案</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○LED や太陽光商品などの提案販売 ○ECO モードなど、環境に配慮した機能を搭載した商品の販売促進や、製品の省電力・小型化の実施 	<p>目標: 月計 6 件以上</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>実績: 月平均 22 件</p>	<p>結果: ◎</p> <p>今年度も、弊社からの提案の数は大きく伸び、また、年末にかけて購入が少し増えた。来年度は OS の切り替えがあるので、動向をしっかりと見ていく。尚、部品調達等に問題がある為、製品の開発については今回も見合わせている。</p>
<p><u>修理・再生・リサイクルによる製品の再生</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○パソコン・周辺機器製品を修理・再生・リサイクルを行い、一般の同程度商品を廃棄した際との廃棄物量を比較し、削減削減量及び再生率・再生数を取りまとめる 	<p>目標: 月 3 件以上</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>実績: 月平均 5 件</p>	<p>結果: ○</p> <p>OS の切り替え前の買い控えの為、とりあえずの修理を行う顧客があり、トータルで目標達成が出来た。次の 10 月の OS サポート終了に伴い、今後製品が動くと思われるので、引き続き取り組んでいく。</p>

～次年度環境経営目標及び計画～

2024 年度環境目標は以下のように設定しました。

- 二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・総排水量 : 基準値 現状維持管理 (基準値より 1% 削減目標)
- 原料及び事務用品のグリーン購入 : 基準値 現状維持管理 (年間購入比率 30%目標)
- 環境に配慮した製品開発・販売・促進 : 月計 6 件以上
- パソコン・周辺機器の修理・再生・リサイクルによる製品の再生 : 月 3 件以上

■ 主な環境負荷の状況

項目	単位	2022 年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂ /年	8,625
廃棄物排出量	トン/年	0.536
総排水量	m ³ /年	216
原料及び事務用品のグリーン購入促進	%/年	30

■ 年度毎の環境目標

削減項目	基準値 (基準年)	2023 年度	2024 年度	2025 年度
		年度目標	年度目標	年度目標
二酸化炭素の削減	8,625 g-CO ₂ (2022 年度)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)
廃棄物の削減 (一般・産業)	0.536t (2022 年度)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)
省資源 (水道)	216 m ³ (2022 年度)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)
原料及び事務用品の グリーン購入促進	購入比率約 30% (2022 年度)	現状維持管理	現状維持管理	現状維持管理
環境に配慮した製品 開発・販売・促進	基準値 8 件 (2022 年度)	月計 6 件以上	月計 6 件以上 (一部努力目標)	月計 6 件以上 (一部努力目標)
修理・再生・リサイクル による製品の再生	基準値 3 件 (2022 年度)	月 3 件以上	月 3 件以上	月 3 件以上

～環境関連法規制等の順守状況～

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

法律	順守事項	該当する設備・項目	確認者	確認日	順守状況
廃棄物処理法	・一般廃棄物については委託業者へ分別排出	資源プラスチック・古紙・缶・ビン・ペットボトル	向山 実恵	2023/12/23	○
	・委託業者との契約 ・委託業者の許認可証の保管 ・保管基準 60cm×60cm 以上表示／飛散・浸透防止、衛生管理 ・マニフェスト発行 B2, D, E 票の受取確認（90日、180日以内）と保管（5年間） ・前年度の管理表（マニフェスト）の交付状況の県知事への報告	廃プラ 金属くず アルミ 混合ごみ 可燃物 その他	向山 実恵	2023/12/23	○
	・帳簿の管理・保存		向山 実恵	2023/12/23	○
	・処理施設の定期検査（努力義務）		向山 実恵	2023/12/23	△
	・処理困難通知と、通知を受けた際の措置 （適正な処理が困難になった場合の対策）	廃棄物全般	向山 実恵	2023/12/23	○
水質汚濁防止法	・敷地内にある灯油タンクから、灯油が地下に漏れるのを防ぐ	灯油	向山 実恵	2023/12/23	○
古物営業法	・一度使用された物品で、買取・引取した古物（中古パソコン等）の売買、営業（リサイクルした商品も同じ）	パソコン パソコン周辺機器 等	向山 実恵	2023/12/23	○
資源有効利用促進法 （リサイクル法）	・自社で製造等したパソコン・周辺機器等の自主回収及び、再資源化	パソコン パソコン周辺機器 等	向山 実恵	2023/12/23	○
グリーン購入法	・環境物品等（環境負荷低減に資する製品・サービス）の調達を推進 ・当該物品の購入者等に対し、当該物品等に 係る環境への負荷の把握の為必要な情報を適切な方法により提供するよう努める	パソコン パソコン周辺機器 パーツ類 事務用品 等	向山 実恵	2023/12/23	○

定期的に環境管理責任者 向山実恵が中心となり、環境関連法規制等の順守状況を定期評価した結果、現在及び過去3年間違反等の問題はない事を確認致しました。

また、同様に、関係機関及び近隣住民からの指摘、苦情、提訴等是一件もありませんでした。

以上

～代表者による全体の評価と見直し記録～

見直しに必要な情報		変更の必要性の有無・指示事項
(環境管理責任者の報告)	(環境管理責任者のコメント・提案)	(代表者)
<p>[取組状況の評価結果]</p> <p>①環境関連法規制等の順守状況 定期評価を実施した結果、順守されている。</p> <p>②是正及び予防処置の状況 水資源の使用増加について 灯油使用量の増加について</p>	<p>[環境方針]</p> <p>再生パソコンについては、次年度動きが出ると思うので、少し動向を見守る。 また、省資源PCの開発については見直しを行い、数社企業を当たったが、変わらず提供部品が無く開発したい部分はあるが、現在は難しいと判断。安価で出来れば需要はあるので、もう少し動向を見守る。</p>	<p>[環境方針]</p> <p>今年度、方針の見直しを行ったが、来年度のOSの切り替えについての動きも考え、そのまま据え置くことにする。</p> <p>変更の必要性： 有 (無)</p>
<p>[目標・環境活動計画の達成状況]</p> <p>温室効果ガスの削減 × 廃棄物の削減 × 節水 × グリーン購入 ○ 環境に配慮した製品の開発・提案・促進・販売 × (提案・促進・販売のみ○) 修理・再生・リサイクルによる製品の再生 ○</p>	<p>[目標・環境活動計画]</p> <p>例年通り、電力及び灯油の使用状況確認・節水を心掛けた結果、灯油・節水について増加傾向にあり、その他については現状維持が出来ている。 廃棄についても増加傾向にはあるか、理由は分かっているのでこのまま継続する。</p>	<p>[目標・環境活動計画]</p> <p>今年度目標を見直したが、上記同様、来年度のOS切り替えに伴う業務変動が起こる事も考えたが、目標を一部縮小した。動向により、調査は継続して行う。</p> <p>変更の必要性： 有 (無)</p>
<p>[周囲の変化状況]</p> <p>①外部コミュニケーション記録より 苦情については特に無し ②環境関連法規制等の動向他</p>	<p>[その他の環境経営システムの各要素]</p> <p>昨年同様、パソコン離れに加え、物価高騰やOS切り替え時期調整による買い控えにより、業績の浮き沈みが大きい。来年度は兆しが見えるが、今期は業績も厳しい。</p>	<p>[環境経営システムの各要素]</p> <p>円安や物価高騰については、今現在も続いており、中々先が見えない状況で経営は中々思うようにならない。 現在は堪える時期と考え、次年度業務を円滑に進められるように整える。</p> <p>変更の必要性： 有 (無)</p>